



八期オンライン日記第100号(8月号)

2025 年 8 月 1 日～30 日



八期オンライン日記第99号7月号 投稿回数ランキング



	投稿者	投稿回数	ページ数
7月 99 号	9	104	47
8月 100 号	13	180	76

八期オンライン日記第100号8月号 投稿回数ランキング



この八期オンラインで
使用を希望する写真が
ありましたら、送ってください。
撮影した時代は問いません。

みなさまの積極的な投稿により
記念すべき今月 100 号では投稿が急増し
ました。誠にありがとうございました。
来月9月も、より一層、より多くの方々の
参加と投稿をお待ちしております。

西山



西山

今号は、めでたく 100 号を迎えました。私は「玉龍八期会 卒55周年記念誌」(2014 年 10 月発行)への寄稿文末尾に次のように書きましたが、同じような願いの人びとの願いが叶っての「八期オンライン日記」です。

最後ではあるが、最も重要なこととして、八期通信は今回で最終になりそうとのことであるが、是非とも継続をお願いしたい。

紙媒体での八期通信は休刊でも、PDF 形式などでネット上での掲載をお願いしたい。この手間のかかる厄介な役割を是非とも、大石慶二さんにお引き受けいただきたい。

自分でパソコンを操作しない方は、子供や孫たちに協力をお願いすることで、ジジババの交遊の広さを認識させる副産物を得られる。そのために、できれば年に二回、正月とお盆の家族が集まりそうな時期に見られるようにお願いしたい。

玉龍でもまれな特筆に値する「八期通」の継続をお願いします。

今 100 号発信に際し、「八期オンライン日記」の創刊者であり、長年にわたる管理運営持続者でもある大石さんに巻頭言をお願いいたしました。



大石

1995 年(平成7)55歳に第1号の八期会通信が発行され 2014 年(平成 26 年)10 月に『卒 55 周年記念誌』の発行をもって八期通信は幕を閉じました。

4年間ほどのブランクを経て現在の『八期オンライン日記』の前身の『八期歴史会往来』がスタートしました。



今回、編集人を代わってもらった西山和宏さんから9月号は記念の第 100号なので前編集長としてメッセージを載せて欲しいとの要請がありました。

内容は自由ということでした。この『八期オンライン日記』もパソコンを経由したメール文での発信がすっかりスマホを使う LINE にお株を取られたというのが今のすがたです。

自分自身もそうですがいずれ床に就く生活を強いられるようになると机の前で叩くパソコンより手の上で扱えるスマホの交流は益々主流になることでしょう。

今でも指を使わず声で文字化も文字替わりも出来る SNS には勝てません。

ただわれわれ紙・文字世代にとっては元気な内は A4 の文字版は続けたい所でしょうか。

そうそう、100号念の巻頭文を任されましたが85年の振り返る人生の中でやはり楽しかったのは昭和30年代の後半ロカビリー台頭し、やがてフォークソング広がっていく『神田川』『我が良き友よ』のころですかね！

…ということで其の頃のことを書いてみたいと思います。ぼくの海馬に宿る「思いだしナンバーワン」です。

今、振り返ると「昭和30年代中頃が」わが人生の華だった

東京高円寺時代の思い出

大石ケイジ(Kクン)

あの頃のKクンのアパート生活を思いだして見る—

生活費を削る為には食費の節約が絶対条件だった。かきあげ、コロッケは20円、メンチ30円、白菜18円、卵28円、などが主な惣菜だったけど 金欠病になると小さな袋に入ったマヨネーズを鉄で角を切って熱いご飯に絞り出して食べた。

1960年昭和34. 5年のころのお話である。

後の時代、そう1973年に流行ったかぐや姫の「神田川」の歌詞そのものだった。ぼくが初めて通代に遭ったのも二人のアパートの真ん中あたりにあった風呂屋の横の屋台のおでん屋だった。さて、話はその頃に戻る。



ぼくたちは、お腹を満たす為に糸で結んだソーメンの束を、大きな鍋に放り込み味噌汁と混ぜて、ごはんにかけて食べた。近くに自分の家がある友人の泉(オセンと呼んでいた)が羨ましく思った。

高円寺に落ち着くまではよくアパートを変わった。逃げ回っていた訳ではない。

学生時代の引越は、学生援護会の軽トラックで充分だった。

それでも「ちょっとしたもの」を持っていた。

ひとつは秋葉原で買ったビクターのステレオ。2台のスピーカーを挟んで真ん中にピックアップ型のプレイヤーが鎮座した横長の一体型ステレオである。



MJQやアートブレーキーのレコードを中古店で見つけ、安く買ってはよく聴いていた。

もう一つの財産は丸井で買ったフランスベッドだ。折りたたむとソファ2台になる当時としては最新の品だ。

でも四畳半一間にステレオを置いてフランスベッドを置くという構図はどう考えても無理があり何度目かの引越しの際に、そのステレオは処分してしまった。(だれに挙げたか覚えていない)後に残ったのは月に1度の(実際は居留守を使うので度々の訪問になる)丸井の集金人の恐怖の来訪だった。

アパートのドアの外で「丸井で一す！」と叫ぶ 声がすると物音を立てずに居留守を使う。

月賦屋の執拗なる連呼と、K クンの長〜い我慢比べ、息の詰まるような戦いが、月に一度 何度か続いた。

高円寺の質屋にもよく通った。丸井で買ったばかりの ジャケットを持って行ったこともある。父に買ってもらったクラリネットは10分の1くらいの値段でとうとう 流してしまった。そのために大学でクラブに入ることを諦めた。

斎藤真ちゃん(下町の江戸っ子学友)も日暮里から電車でよくアパートに遊びに来た。そして、彼の上着もその晩のおかず代に化けた。今思えばひどいものだ。

真ちゃんのニヒルな微笑が今も浮かんでくる。でも悲壮感はまったくなかった。

そして、換えるもの(質草と言ったっけ)が無くなると、常盤台に住んでいる相本の家に出かけた。麻雀は理由に過ぎず、目的は飢えをしのぎの食事だった。

同じクラスの親友オセンは行かなかった。何故だか分からない。たぶん、麻雀が嫌いだったのかも知れない。彼のお兄さんはその頃有名だったスリー 그레이セスのマネージャーだった。



飢えしのぎと言えば家庭教師も似たようなものだった。シナ研の先輩に引継ぎされた東京下町(新大橋)に住む(お父さんが松竹の映画監督)共立女子中学か？高校だったか？のお嬢さん(的井啓子ちゃん)の家庭教師は、途中で出る夕食のみが記憶にある。

あろうことか、散歩にかこつけて本人(お嬢様の)希望(好奇心を満たしてあげるため夜の日比谷公園散歩迄付き合っ

大学に入ってからとの彼らとは70台まで八期仲間と変わらない付き合いが続いた。実はこのメンバーに同じクラスだった複数の仲良し女子大生が加わる。大学時代の永遠の友人たちである。(真ちゃん相ちゃんはすでに鬼籍に)よく行った高円寺のマッチのレーベル、K クンよ！良く残していたものだと感心する。

(パートⅡ)

以上で終りにと、思ったらその頃の別な自分を思い出した。生活費稼ぎのアルバイトを忘れていた。わが八期の仲間たちもアルバイトの思い出がおりだと思ふ。ぼくの場合はメインはテレビ映画のエキストラ出番だった。その他大勢がほとんどだったけどたまには演技やセリフもやらされた。一番最初は NHK の朝ドラのはしり「おはなはん」のその他大勢だった。駅の改札から出る乗客だった。兄の友人の紹介で始まり3年間ほど何十回出ただろうか？いまでもテレビの帯にいっぱい名前が出るがぼくの所属は「ラッキープロ」という組織(その他大勢の何でもやる集団)だったと思う。出演する出番が何か所かあるので一人前にリハ(3回くらいある)の度に、台本が配られる。書き込む箇所は3か所ほどのチェックで済む。

数えきれないほどの番組に演技なしの出だけをした。

何度か声を掛けられたけど俳優のスカウトではなかった。テレビ局の中は電通とか、大広とか、万年社とかいろいろな広告会社の出先の人たちがウロウロしている場所のようで記憶している別のアルバイト(エキストラより高賃金)は新聞広告の写真モデルだった。

読売新聞か夕刊だったか？カメラマンに学生服？ジャケット？着せられて撮られた経験もある。

たいして映り映えがしなかったのだろう2、3回で来なくなった。いちばん肝を冷やしたのはアイドル達が歌い踊るバックで飛び回り、振りをするバックダンサーに誘われたことだ。



毎週4日ほどはこんなバイトを兄弟にときどき彼女(今の妻・通代)3人でしていた。もちろん大学生活は続けながら。でも、決して裕福ではなかった。そういえば、一度、通代がテレビコマーシャルにスカウトされかけた。貰った名刺にご連絡をお待ちしていますと、言われたが「あぶない、あぶない」と返事しなかった。チャンスを逃がしたナ！とのちのち、よく話題(笑い話)に出た。

次々に思いたすのできりが無い、わが青春の記憶である。確か、『ケイジの青春記憶』みたいなのに(HP)に書いたような気がする。

END 大石ケイジ(Kクン)



木庭

西山さん、今日のNHKテレビで上野公園不忍池のハス花まつり、
凄いですね！



西山

私はその番組を見ていません。
「蓮の華」見物の客を目当てにした仮設店舗を営業中に見たことはありません
ので、折を見て見に行きたいと思います。
昼間なら早朝と違って、見物の人たちも多いと思います。



木庭

お店、屋台も出てました。風鈴が沢山下げられており、
涼しさを感じた画面でした。



浜崎

三千個の風鈴が、
風の通り道ですずやな音色を奏でていました。



西山

ピンチヒッター編集人の第2作をお届けします。
今回は、いよいよ記念すべき第100号です。
また、戦争の思い出、書き残しておきたいこと、同期のみなさまに
伝えたいこと、身辺雑記などお待ちしております。



隈元

西山さん 猛暑の続く中での編集ありがとうございます。

そしてお疲れ様です。

8 期生の中で、このようなことができる人材は、大石さんと西山さんの二人だけでしょう。

それとも多士済々の皆さんがおられるので、どこかに隠れた逸材が？！

LINE にも是非たくさんの方の 8 期生の皆さんに参加して欲しいですね。



西山

隈元さん 過分な お言葉恐縮です。

思ったことでもできないことは多々あります。

編集を引き受けましょうと名乗りを上げたまではよかったのですが しばらくして、ラインの書き込みをパソコンに転送しなければならないことに気づきました。

これは安請け合いをしたかと思いました。

うまく転送できても、それがどのような手順であったのか、その一つひとつを記録していないので正確な再現ができませんでした。これはよくあるというか、しょっちゅうあることです。私はスマホの操作でも、そのようなことを繰り返しています。

一度でもできたことがあれば、この要求は的外れなものではないことが分かります。

それが分かれば、目標を達成できるまで、いろいろな方法を試してみます。

「できないときには不可能なことでも、できるようになると屁のカツパ」。

ラインの書き込みをパソコンに転送できるようになったのは6月も中旬のことでした。

大石さんと私の共通点は、おそらく大きな組織に属していなかったということだと思います。

傍に、パソコンの操作について教えてくれる人やスタッフがいない。

ましてや代わりに操作をしてくれる人はいない。

なんでも自分でやらなければならない。この状態は今でも変わりはありません。

八期オンライン日記の編集に不備があるとしたら、修正方法を教えてくれる人がそばにいないからです。と思ってご寛容のほどお願い申し上げます。

もう一つお願いがあります。ライン「玉龍八期会」にはメンバー32 人が所属していますが、7月に書き込みをされた方はわずかに9名です。後の方々は傍観者でした。

傍観者に甘んずることなく投稿をお願いします。 西山 和宏



堀添

皆さん、西山さん、堀添です。

私も西山さんいうところの傍観者です。すみません。傍観者とは、投稿しない人、として言い訳を書きます。私が傍観者であるのは、八期オンライン日記が長文で、全文を読み切ることができないこと、この歳になっても子供に理科を教える活動に参加しており(最近では教壇に立つことは無理で、専ら縁の下作業)、そちらが結構忙しいこと、皆さんと興味が大きく異なるようだの3点です。文章を書くのが遅い、というのも加えた方がいいかもしれません。それに老夫婦2人の家事を加えると満杯です。皆さんと異なる私の興味は気候変動です。こんな問題は1個人が切歯扼腕してもどうなるものではない、と割り切れればそうなのでしょうが、私は気になっています。最近では熱中症患者が増えただけでなく、コメをはじめ農作物の作柄にも影響が出始めて、飢餓の始まりかもしれません。ちょっとコメが不足しただけでこの騒ぎです。われらは逃げ切っていると思いますので、心配無用。飢える前に死にます。

ところで西山さん、西山さんは大きな組織に属したことがなかったので教えてもらうことがなかった、記されていますが、それでいいのでは。

私の属した川鉄は十分大きな組織でしたが、コンピュータについては教えてもらったことはありません。最初に触ったのは1962年大学時代、以来、コンピュータの成長期でしたがずっと自学でした。そんなものでしょう。もっとも、大組織でしたから触る機会は多かったと思います。その点は恵まれていました。以上、これで約45分かかりました。



西山

堀添さんへの返信

堀添さん 長文のメールまことにありがとうございます。

子供たちに理科を教える活動に参加しているとは、大変立派なことです。

不思議に思うこと、なぜだろうと考えることは重要なことだと思います。

最近のこの猛暑や線状降水帯など、だれしも気候変動に関心を持っているでしょう。

私は、40歳の誕生日直前の1980年3月、社内の雑務から解放され、より自由に活動と勉強の時間を持ちたいという動機からスピンオフしました。

1980年10月、米国のミナーに参加したとき、最近まで3誌であったパソコン専門誌が、30誌を越えたことを知り、新しい時代の幕開けを感じました。ポータブルのアップル・パソコンやマウスを見たことは衝撃的でした。

最近、AI(人工知能)や生成AIが話題であるが、米国では1990年代にデータ活用を推進するために、部門横断型への組織転換が行われ、DX(データ・トランスフォーメーション)は、トップダウンで進められていました。米国のセミナーにはトップの出席が多い。

1983 年、ワープロ(シャープ書院;150 万円)を購入して、生鮮食品部門のマニュアルを作成して投資回収。

1986 年、日本で発売の「ロータス 123」を購入。以前、フォートランを学んだ経験が生きた。「ロータス 123」を駆使して、当時、大型コンピュータでも困難であった「DPP(Direct Product Profit);商品の販売コストと利益分析」を行った成果を「商品利益管理」と「カテゴリー・マネジメント」としてダイヤモンド社から上梓した。

日米構造協議が国家的な課題になっていたとき、農林水産省委託事業として、1988 年「DPPシステムの利活用と流通実態調査」、1989 年「食品流通効率化促進対策総合調査」で委員長を務めた。このような活動ができたのは、スピノフしたからだと思っている。

このような経験から、DPPやデータ活用について、米国ザビエル大学(オハイオ州シンシナティ)で、P&Gやクローガー(米国大手スーパーマーケット)の人たちと共に、年1回、5年間1時間の教授たちに講演を行う機会を与えられた。

私はスピノフによって、翼を与えられ広い世界を見分し体験できました。

堀添さん、健康に留意され、お元気で活躍されますことをお祈りしております。



大石

全英女子オープン前ですか？

久しぶりに八期推しの勝みなみ

朗報が届いてます。後1日。

期待したいがダメでもいい！

頑張っているのが届くだけでも！波に乗れば(波)強いよ！

西山

AIG女子オープンで活躍する勝みなみ





パート②

パート①



松富かおり

1時間・🌐

... ✕

『中国、ついに、集団指導体制へ転換か？』

1、「そして誰もいなくなった？」

◆ 米紙ウォールストリート・ジャーナルは9日、中国の次期外相候補だった劉建超部長の拘束を報じた。連行され、尋問を受けているという。

劉氏は2015年に国家腐敗予防局の副局長に就任。習近平の意を受けて政府幹部の反腐敗運動に取り組み、海外に逃亡した汚職官僚を帰国させるなど、成果を上げていた。

◆ 今年、3月には習近平の軍内側近といわれた中央軍事委員会 No.2 の何衛東が行方不明になり、その後失脚が分かった。習近平が格別の配慮で抜擢した人物だ。

◆ 6月には「軍内の習近平の代理人」といわれて、軍内の反習近平派の動きを探っていた苗華が中央軍事委員を解任された。「重要な法律と規律違反の疑い」という、汚職よりはるかに思い容疑だった。党と国家の要職を全て解任され、完全に失脚した。現在、軍部において、習近平派の人物は、ほぼ壊滅状態と言っている。

中国軍で、これほど明確、かつ激しい粛清が行われたのは改革・解放時代以降初めてだ。

2、「民営企業への肩入れ」

「習近平の動きがおかしい」——最初に私がそう感じたのはこの2月から始まった「民営企業への支援システムづくり」だった。習近平は、たとえゾンビ起業に成り果てても国有企業を重視し、民営企業はどんなに利益を上げていても冷遇。あの、アリババですら捻り潰そうとしたくらい民営企業嫌い。創業者ジャック・マーは無理やりに株式を譲渡させられ、命の危険を感じて、外国を放浪していた。それが、ジャック・マーは2月の座談会に招かれ、習と共に他の起業家と座談会に臨んだ。「民間企業の潜在力は大きく、~~あなたたちが活躍するにふさわし~~

潜在力は大きく、あなたたちが活躍するにふさわしい時を迎えた」——習はそう述べたが、これはあまりにも習のプロファイリングにそぐわない。何が習を変えたのか？

習は経済がわからない。頑迷で自分だけが正しいと考えている。権力闘争では力を発揮しても、海外の論理的なリーダーたちが何を考えているか理解できない。突然の出来事に、即反応できない。

◆ トランプがチョコレートケーキを食べながら、「59発のトマホーク・ミサイルをシリアの空軍基地につい先ほど発射したよ」と言った時に、全く反応できず、思わず同盟関係のシリアを非難してしまったほどだ。(この問答は、トランプと習近平のパーソナリティが如実に見えるもので、本当に面白く、中国の代表団は大慌てでホテルに帰り、頭を突き合わせて前後策を考えることになった。。。詳しく知りたい方は、『明日は戦場にいるかもしれない』でお読みください💖)

3、「BRICSのサミットを欠席」

BRICSは、習がこれまでG7サミットのような重要会議と位置付けていたものだ。もちろん、欠席は初めてのことだった。

実はこの頃の2週間余り、習は公の場に一切姿を見せていない。

しかし、最も不可解だったのは彼が不在の2週間、国家的行事は滞りなく行われ、それどころか、習に関する言及、習近平思想に対する言及は一切なかった。

その前からメディアにおいて「習近平思想」の取り扱いが減り、彼の政治的影響力が衰えているのは明らかだったが、国家的行事においての『国家主席・習の完全な不在』は共産党の中では、あまりに異常なのだ。

パート③

の完全な不在』は共産党の中では、あまりに異常なのだ。21:18

4、そして「民主的な政策決定・・・を堅持せよ！」

そう考えると、5月19日の中期計画策定で習が「科学的な政策決定、民主的な政策決定、法律に則った政策決定を堅持せよ」と強調した指示が重い意味を持ってくる。

なぜなら、この言葉は、胡錦濤が自身が総書記として最後の共産党大会で行った活動報告で言い残した、いわば「政治的な遺言」のようなものと言一句、同じものだからだ。文中に「使われている『民主』という言葉には「集団指導体制」、また「党内民主」の考え方が含まれている。

それまでの習はこの言葉に反して、権力の一極集中、法の濫用を行い、胡錦濤は3年前の共産党大会で、腕を掴まれ、世界が見守る中、ひな壇から引きずり下されるという屈辱的な扱いを受けた。共産主義青年団（共青团）出身の李克強前首相は予想に反し、完全引退に追い込まれ、また胡錦濤が将来の総書記にと夢を託していた胡春華は、政治局メンバーから外され、のちに閑職に追いやられた。

◆ その胡錦濤の「言葉」をそのまま習が公に発言する意味は何なのか？

今、中国内部では激しい権力闘争が起きている。しかも、こういう事実から見て行くと、習はかなり劣勢だ。

不動産バブルの崩壊、工場労働者の賃金カットや解雇、若者の高い失業率、インフレ、困難が予想されるアメリカとの関税交渉（現在のアメリカとの関係の悪化は習の対立的な強硬姿勢が生んだものとも言える）・・・。習は経済的・社会的繁栄を中国にもたらすことに失敗した、とみなされたのではないかと？その結果、中国の国内政治において、何らかの異変が起き始めているのではないかと？

5、そして、6月30日、画期的となる政治局会議。

パート④

その結果、中国の国内政治において、何らかの異変が起き始めているのではないかと？ 21:21

5、そして、6月30日、画期的となる政治局会議。

この会議では新しい条例が定められた。この新しい「条例」は、習が自分に権力を集中するために乱立させ、利用してきた「小組」や「委員会」の役割を否定するものだった。

「党中央の議事決定調整機関」以外の機関がほとんど全ての事柄を決めるのは『権限を逸脱した越権行為』であり、認められない、と断じたのだ。

◆ つまり、習が作り上げてきた自身への権力集中システムが完全に否定されたに等しい。

◆ 今、北戴河において長老たちが政治について意見を交わす「北戴河会議」が行われている時期だ。——習近平は、この会議をどうやったら無傷で生き残れるのか？

◆ これまでの流れから、胡錦濤派の力がかなり戻ってきていることがわかる。胡錦濤が将来の総書記にと希望を託した胡春華復権の兆候もある。

◆ 軍部では制服組トップの張又俠の存在が大きくなった。彼は中央軍事委員会副主席でもある。残る制服組の中央軍事委員会メンバー、劉振立・張昇民軍にとっても重要な会議に、軍から参加していたのはこの3人。この二人は習との関係は薄い。

◆ ◆ ◆ このような事実を積み重ねていくと、中国は、胡錦濤や他の長老らが望んだ「集団指導体制」に回帰するのではないかと、私は見ている。

ただし、中国では常に熾烈な権力闘争が起きており、習近平が復権し、再び権力を掌握する可能性も捨てきれない。

しかし、「権力は重厚から生まれる」と言う中国で、軍の中に手駒を持たない習近平が、かつてのように周りの意向を完全無視できるほどの強権を手にすることができるかは、大いに疑問だ。



「人が変わったように」1イーグル7バーディ奪取 勝みなみがメジャーVに最接近

2025/08/03 06:19



米国女子ツアー トップ AIG女子オープン(全英女子)



3打差は人生史上メジャーVに最も近い位置

◇女子メジャー最終戦◇AIG女子オープン(全英女子) 3日目(2日)◇ロイヤルポースコール(ウェールズ)◇6580yd(パー72)

ボギーでスタートした3日目は、6番(パー5)で「人が変わったように」ガラリと流れが変わった。勝みなみは1イーグル7バーディ、2ボギーのフィールドベスト「65」と“ムービングデー”にふさわしい猛チャージで通算6アンダーへ。首位と12打差あった35位から、3打差の4位にジャンプアップした。



大石
このままいけば大(お金)(お金)金だ
よー
キャディの胸の文字がいいネ



市来
素敵ないい夢を見さしてくました、
ありがとう、万歳バンザイ最高です
後半戦が楽しみになって来ました
ね、みんなの応援のおかげです、
八期会万歳。
元気で行きましょう。



隈元
勝みなみちゃん全英女子オープン、2位！！ 入賞。
おめでとう！



市来

ありがとう、隈元さんの応援と 생각이イギリスGBのウェルスみなみに通じたと思います、これからが楽しみです、サンキュー



森

優勝賞金は2億 2500 万円 二位の賞金は？



木庭

勝みなみさん、全英オープン、2 位タイ入賞おめでとう！

賞金が凄いですね！

77.2 万ドル。市来龍作じいじいも喜んでおられることでしょう！

次はアメリカでの優勝を期待したいです。

2位の賞金は、日本円で約 1 億 3,150 万円の様です。



市来

ありがとう長いトンネルを抜けていい夢を見さしてくれましたよ、後半戦アメリカの試合が楽しみです頑張れみなみチェスト



西山

龍作じいさん、諸手を挙げて、万々歳、本当によかったですね！



永野

みなみちゃんおめでとう🎉

龍作爺さんのえがをが浮かびます^o^



西山

スポーツニッポンは次のように伝えています。

首位と3打差の4位から出た勝みなみ(27＝明治安田)が4バーディー、1ボギーの69で回り、通算9アンダーでメジャー自己最高の2位に入った。

2番でボギーが先行。4番でもティーショットを曲げてピンチが訪れたが、ここをパーで切り抜けて流れが良くなった。

9番パー5で第3打を5メートルにつけて挽回。11番では6メートルをねじ込み、最終18番パー5では第2打をグリーン左カラーに運んでバーディーで締めた。

ホールアウト後、中継局ゴルフネットワークのインタビューでは「ボギーが先行したけど、9番でミラクルパーパーが来てから、パーで粘って、チャンスにつけてどんどん伸ばせるゴルフが1日できた」と振り返った。

日本ツアーで8勝しているが、23年から本格参戦する米ツアーでは未勝利。これまで24年シェブロン選手権の9位がメジャー最高成績だった。

優勝に届かず「もっと上首位と3打差の4位から出た勝みなみ(27＝明治安田)が4バーディー、1ボギーの69で回り、通算9アンダーでメジャー自己最高の2位に入った。

2番でボギーが先行。4番でもティーショットを曲げてピンチが訪れたが、ここをパーで切り抜けて流れが良くなった。

9番パー5で第3打を5メートルにつけて挽回。11番では6メートルをねじ込み、最終18番パー5では第2打をグリーン左カラーに運んでバーディーで締めた。

ホールアウト後、中継局ゴルフネットワークのインタビューでは「ボギーが先行したけど、9番でミラクルパーパーが来てから、パーで粘って、チャンスにつけてどんどん伸ばせるゴルフが1日できた」と振り返った。

日本ツアーで8勝しているが、23年から本格参戦する米ツアーでは未勝利。これまで24年シェブロン選手権の9位がメジャー最高成績だった。

優勝に届かず「もっと上を目指していたので嬉しいけど、納得はしていない」と複雑な思いもあるが「予選通過できるかどうかというところからこの位置にいったというのは自信につながる1週間だった。この3年間で一番いいゴルフができたと思う」と胸を張った。



大石

八期 LINE をご覧の皆さま ♡

どうぞひとこと『龍作さんおめでとう祝』のトークを(拍手)します。

彼も長いくらいトンネルにいたのでしょうか。 ケイジ



永野

私も東京旅行前にころんで骨折痛い思いをしているとき
嬉しいお知らせありがとうございます ♪元気ができました。



ゼンチャン

龍作君みなみちゃん

全英オープン2位おめでとう??今朝起きラインを観て飛び起きました、夢じゃないかとほほをつねってみました。



大石

今朝の南日本新聞から切抜(朝)

尾辻さんとは学年は近いけど最後のコメント意外は「へえそうだったの?」と思うこと多々(えー)



ゼンチャン

全英オープンのあのコースは難しいコースだと聞いています。

西山君から詳しいコースの説明を書いて貰い大変なコースで良く頑張って2位おめでとう)猛暑の中龍作君もハラハラドキドキだった事でしょうね。

みなみちゃんの活躍 暑も吹き飛びました。おめでとうございます。



上山

みなみプロ2位入賞おめでとうございます!??

朝からいいニュースが飛び込んで来て、嬉しい限りです。

龍作おじいさまは ハラハラドキドキの4日間だったことでしょう。

ゆっくり休養なさってください。

岩元

西山様 同期会の案内、ありがとうございました。

此の処老化が進み体調不良のため静かに過ごしていますので、残念ながら参加できません。皆様によりしくお伝えください。盛会をお祈りいたします。

岩元喬明 090-5212-9150 (eメール受信を転載)



西山

ご返事ありがとうございます。

不参加。残念ではありますが、養生に努めてください。

(eメール発信を転載)



西山

尾辻さんの話、面白いですね。防衛大学は在学中に母親死去。家計を支え、妹大学に進学させるために防衛大学を中退。23 歳で東京大学に入学、当時大学紛争で授業が行われず、世界放浪の旅に出かけてそのまま中退。戦前生まれの最後の参議院議員であったそうです。



浜崎

竜作さんおめでとうございます。夢じゃなくて現実ですよ。素晴らしい足跡を残してくださいました。久々に胸のすく快挙です。あっぱれをたくさんあげてください。



木庭

尾辻さんの記事、PC へ転送し、コピーし、読みました。

尾辻さんの中に先生を東京からきてもらい、進学指導に力をいれて貰ったとの記事があります。

7人？北見、七尾、安楽先生ではなかったと記憶、定かではないですが、来られたことおぼえています。



西山

東京から呼ばれた先生。支度金はお一人 50 万円。予備校の先生であったとも伝えられています。我々が高校受験した時は学区制で居住している地域によって、受験できる学校は定められていました。ところが、あの記事では、優秀な学生、つまり難関校に合格しそうな生徒を求めて、スカウト活動をやっていたようです。池畑校長は奨学金を餌に郡部まで足を伸ばしていたようです。



木庭

池畑校長は、なかなかのやり手だったのですね！



大石

昨夜善ちゃんから酒の匂いのする憤慨電話📞がかかって来た。

「どのテレビ 画にも山下全英オープン優勝 呂ニュースが流れるのに2位勝みなみが出てこない！「文字(テロップ)だけでも出せばいいのに！」…と。今朝の南日本新聞を見たら少しは収まる(OK)かもしれません。



安倍

私も、全く同じことを思いました。どうしてみなみさんのこと、立派な成績なのに!?



大石

この3日目の65がみなみち
ゃんの真骨頂！潜在能力の
大きさは未曾有、同じことは
山下にも言えるけどね。ド素人解説より



ゼンチャン

南日本新聞にはいくら何でも
 ずるとは思っていましたが
 1位と2位の差がわずかに2
 打差でテレビの扱いがこん

なにも違うのか(question)

しかも全英オープンメジャーの大会で日本人が1位と2位を独占したにもかかわらずみなみちゃん次の大会も優勝して頑張ってください



大石

そうそう『1 位, 2 位独占！ 全英女子オープン制す』いいタイトルだと思う。
日本女子の層の厚さを PR!!



最終成績 (パー72)					
-11	①山下美夢有	277	(68	65	74 70)
-9	②勝みなみ	279	(71	74	65 69)
	②ハルナ (英国)	279	(73	71	66 69)
-7	④竹田麗央	281	(67	69	74 71)
	④金阿林 (韓国)	281	(70	71	67 73)
-6	⑥徐薇凌 (台湾)	282	(71	72	69 70)
	⑥M・カ (米国)	282	(72	70	68 72)
-3	①①西郷真央	285	(69	76	68 72)
+2	③③古江彩佳	290	(70	75	70 75)
	③③畑岡奈紗	290	(74	68	73 75)
+5	④④岩井明愛	293	(73	72	75 73)
+9	⑤⑤岩井優利	297	(73	72	73 79)
	⑤⑤岩井千怜	297	(69	76	69 83)



大石

鹿児島県民の自民党??まさに世代交代来たたる(!!)三田園さん、宮地さん、保岡さん??いまいち重さがないようです。

尾辻娘も(本来なら保守派)頼りない。

次の自民代表に藤崎たけしの台頭を望みたい。



ゼンチャン

保守王国だった鹿児島県日本を動かしていた二階堂や山中等大物代議士がいた頃とは代わり今地元の代議士の名前すら思い出せません。



西山

『尾辻秀久さん語る』特集記事、面白く読みました。

池畑校長のやり方を語ったのは非常に良かったと思いま

す。尾辻さんも少しは疑問に思っていたのでしょう。東京から大金で招かれた先生は予備校の講師であったとも聞いております。他の教職員はどのような気持ちで見えていたでしょうね。他の学校を退学も、陸上競技の記録保持が認められ転校できたとか。

学校の売名優先の私立学校のような運営を
されていたようです。



西山

勝みなみ、今回の成績をスプリングボードにして
より一層の活躍をして欲しいものです。



森山氏、県連会長辞意

自民県議らに動揺

後任人事「簡単にいかぬ」

森山氏、県

自民党の森山裕幹事長が参院選鹿児島選挙区での公認候補落選を受け、県連会長を辞任する意向であることが県選出国会議員に伝えられた4日、県内の所属議員らに動搖が広がった。統投を望む一方、「けじめをつけたいのでは」と理解を示す声も。辞任に至った場合の後任に今年1月入党した三反園訓衆院議員（鹿児島2区）の名前も挙がり、「交代は簡単にはいかない」と懐疑的な見方もある（一面参照）。

県選副会長を務める鹿児島県議会の日高滋議長は「二つのけじめが示された。私たちが責任を感じる」と重く受け止めた。今後につ

人事案を協議した自民党鹿児島県連の常任顧問会議は4日、東京・永野の自民党本部（山下翔昌撮影）

県連副会長を務める鹿兒島県議会の日高滋議長は「二つのけじめが与えられた。私たちも責任を感じる」と重く受け止めた。今後について「県議団内でもいろんな意見が出るだろうが、大切な時期なので十分議論が必要。自民党をどうしていくのか課題を投げかけ

県連総務会長の飯屋秀一、鹿兒島市議は「われわれは辞任を望んでいないし、会長として今後も頑張つて、もう長い」とした上で、「非常に責任感が強く、党幹事長の重責も担っている。参院選の結果について何らかの結論を出さなければいけない」との思いからではない」とと心情を察した。

青年局長の柴正鉄平県議は「辞意は残念。参院選の結果を受けてということであれば私たちの力が足りず申し訳ない」とした。三反園氏については「報道で聞いているだけ。今後の流れ

を見守るしかない」と述べるにとどめた。

県議団内では、森山氏が会長を辞めた場合、「4人しかない国会議員の中で後任を決めていいのか」との懸念も根強い。他県選では県議が会長を務める例も多い。ある県議は「入党し

**維新前原氏ら
4幹部が辞意**

日本維新の会の前原誠司共同代表は4日に開いた党の非公式会合で、参院選の不振を受け引責辞任する意向を吉村洋文代表に伝えた。岩谷良平幹事長、阿部司総務会長、漆間勲国対

て一年に満たない三反國氏
が会長に就くのは納得でき
ない」とする。別の県議は
「県知事時代の政治姿勢や
三反國氏候補を破り当選し
た三反國氏の入党には今も
異論がある。まともなされる
のか」と語った。

(吉松寛子)

委員長も同様に辞意を伝達
した。前原氏は、吉村氏を
除く執行部の刷新が党勢回
復に必要だと主張。吉村氏
は自身の統投を巡る党員投
票中たとして、扱いを留保
した。

関係者が明らかにした。
前原氏は5日の国会議員団
による役員会で正式表明す

維新前原氏ら
4幹部が辞意
日本維新の会の前原
共同代表は4日に開い
の非公式会合で、参
不振を受け引責辞任す
向を吉村洋文代表に任
た。岩谷良平幹事長、阿
副総務会長、漆間

吉村氏は、前原氏は、吉村氏を除く執行部の刷新が党勢回復に必要な」と主張。吉村氏は自身の続投を巡る党員投票中だとして、扱いを留保した。

関係者が明らかにした。前原氏は5日の国会議員団による役員会で正式表明す

て一年に満たない三反園氏が会長に就くのは納得できない」とする。別の県議は「県知事時代の政治姿勢や自民公認候補を破り当選した三反園氏のまとうには今も異論がある。また覚えられるのか」と語った。

(吉松晃子)



堀添

八期オンライン会の諸兄諸姉、関東から堀添です。

8月7日深夜から8日早朝にかけての降雨、こちらにいますとおどろおどろしく報道されています。実家(春日町)に聞くと相当降ったらしいですが、とりあえずは無事とのこと。鹿児島市に居住の方が多いと思いますので、実家と似たり寄ったりの状態かと拝察しますがどうでしょうか。被害がひどいのは国分と始良。始良には西岡(山次)さんが住まわれていましたが、無事でしょうか。今夜もひどい雨になりそうな予報でした。危なくなったら早めにさっさと逃げましょう。以上



隈元

尾辻秀久に対する気持ちを正直にいうと、私は、彼の残した功績もそれなりにあったとは思いますが、同じく父親が戦死した者同志としては、彼の進んだ道には違和感をずっと抱いてきました。

その為、選挙で彼に投票した事は、一回もありませんでした。今回は娘のともみの為に初めて尾辻と書きました。

まあ、人はそれぞれですから仕方がないですが？！



浜崎

今日は8月6日、広島原爆投下の日。忘れられない心が痛む日。

そして、32年前の鹿児島大水害の日。玉竜同窓会総会の当番直前でした。全国から帰鹿された皆様に、それぞれドラマがありました。空港につけなかった人、空港から市内に入れなかった人、翌日の霧島前夜祭もキャンセル。西駅で間違えて行く人がいないか。大石君、みずよさん今は亡き町田君と、終日、見張りしたのも今は懐かしい思い出。災害は忘れた頃にやってくる。心して備えなくては！



大石

そうそうです。よく覚えています。与次郎から草牟田まで歩きました。

前夜祭のある霧島のホテルへのキャンセル電話、サンロイヤルのフロントでふたりして

「する？しない？だって道がないんでしょう？」そんな会話を覚えています。



大石

おはようございます😊

かごしまは晴れてるのに高校野球はないのかな(?)(?)(?)



西山

浜崎さん、大石さん。32 年前、大変なご苦労されましたね。それを思い出させるかのように、今また鹿児島には大雨が襲っています。その昔、大雨のたびにがけ崩れによる犠牲者が応じられたものです。防災体制、大雨に対する対処方法も大いに学習したことでしょうから、被害が少ないことを祈るばかりです。前後の道路ががけ崩れで封鎖された龍が、水の人たちは、沖に出動した船によって救助されました。



ゼンチャン

今現在我が家から外側をみると前方の建物は凄い雨が降っていて全く見えません。



ゼンチャン

おはよう昨夜は雷と大雨で眠れなかった。
市内は被害はでて無いみたいだけど
ハチロク災害を思い出している
ふみえは大丈夫か猛暑が続いているので熱中症(猛暑)に充分気をつけてこの暑い夏場を乗り越えて頑張れよ！



ゼンチャン

すみませんメールを観たら孫に送ったつもりが間違えて 8 期ラインに送っていました。
昨夜は雷と大雨のせいで寝付かれず孫のメールが送ったつもりでしたが寝不足のせいで(眠い)8期の皆さまに送ってしまいました。



西山

いいじゃないですか、却って微笑ましい。



森

今朝は大雨のおかげで桜島の降灰が洗い流されて清々しい朝を迎えることができました。



西山

雨降って灰が流され、
清々しい朝。大変なこと
にも良いことがあるもの
ですね。

人事案を協議した自民党鹿児島県連の常任顧問会議。4日、東京・永田町の自民党本部（山下翔吾撮影）

森山氏、県連会長辞意

自民県議らに動揺

後任人事「簡単にいかぬ」

自民党の森山裕幹事長が参院選鹿児島選挙区での公認候補落選を受け、県連会長を辞任する意向であることが県選出国会議員に伝えられた4日、県内の所属議員らに動揺が広がった。続投を望む一方、「はじめをつけたのでは」と理解を示す声も。辞任に至った場合の後任に今年1月入党した三反園訓衆院議員（鹿児島2区）の名前も挙がり、「交代は簡単にはいかぬ」と懐疑的な見方もあった。（1面参照）

県連副会長を務める鹿児島県議の森山氏は、参院選の結果について何らかの結論を出さなければいけないとの思いからではないかと心情を察した。

青年局長の柴立鉄平県議は「辞意は残念。参院選の結果を受けてということであれば私たちの力が足りず申し訳ない」とした。三反園氏については「報道で聞いているだけ。今後の流れを見守るしかない」と述べた。

県選総務会長の飯屋秀一は「森山氏が会長を辞めた場合、4人しかいない国会議員の中で後任を決めていいのかわからない」と話した。他県選では県議が会長を務める例も多い。ある県議は「入党して1年に満たない三反園氏が会長に就くのは納得できない」とする。別の県議は「県知事時代の政治姿勢や自民公認候補を破り当選した三反園氏の入党には今も異論がある。まとめきれぬのか」と語った。（吉松晃子）

維新前原氏ら4幹部が辞意

日本維新の会の前原謙司共同代表は4日に開いた党の非公式会合で、参院選の結果を受けて引責辞任する意向を吉村洋文代表に伝えた。岩谷良平幹事長、阿部司総務会長、漆間鶴（国対）委員長も同様に辞意を伝達した。前原氏は、吉村氏を除く執行部の刷新が党勢回復に必要だと主張。吉村氏は自身の統投を巡る議員投票中だとして、扱いを留保した。関係者が明らかにした。前原氏は5日の国会議員団による役員会で正式表明する。

2025年(令和7年)8月3日

日曜日

総

合

2

戦没者遺児の戦後80年 ● 尾辻秀久さん語る

6期36年務めた参院議員を勇退した尾辻秀久さん(84)は1943年、海軍将校だった父を亡くした。かすかに残る戦争の記憶と戦没者遺児として過ごしてきた戦後の80年を振り返る。遺児としての体験は後の政治活動の原点にもなった。節目の年に聞いた。

(聞き手・野添聡子)

物心ついた頃は鹿児島市池之上町で母方の祖父母と一緒に住んでいた。祖父は京都帝國大学で建築を学んだ人で、当時珍しい2階建ての洋館は自ら設計した。

近くの共立幼稚園に通い始めたが、間もなく行けなくなった。1945年6月17日の鹿児島大空襲だろう。自宅も幼稚園も焼けてしまった。家族と100人ほど逃げながら

理不尽な叱責

「立派な軍人になれぬ」



左から小学生の尾辻秀久さん、横は妹の義さん、後ろに立っているのは母の智さん、右は母方の祖母テルさん(本人提供、1950年ごろ)

振り返ると、2階建ての家が真つ赤に燃えていたのを覚えている。自慢の洋館だったから祖父はなかなか疎開しなかったのかもしれない。結局、出身地である大口へ移った。子ども心に空襲の心配がない穏やかな所に映った。

ある日、縁側で祖父が難しい顔をしていた。夕方になっても同じ姿勢で動こうとしなかった。今思えば、ラジオから流れる玉音放送を聞いた後だったのだ。

40年以上たち、89年に自身が参院議員になつてから徹夜国会があった。自民党の大先輩だった板垣正さん(父は関東軍参謀として満州事変を主導した征四郎)が本会議場で微動だにしない様子に、祖父の姿を重ねたことがある。

戦後しばらくして祖父母、母、妹と鹿児島市へ戻った。荒田八幡近くの一軒家だった。理不尽なことに元軍医だという医者から厳しく叱責された。私の父が海軍将校で戦死したことも知っていた。「ばか者、これでは立派な軍人になれないではないか」。残念ながら左足の親指を失っていた。

一家の大黒柱である父はいない。24歳で未亡人となった母の智は、同じように戦争で夫や父を亡くした仲間とともに

た。友だちと「巡査と泥棒」ごっこをしていた。逃げるのに夢中になって大通りに出て、走つて来た電車でぶつかってしまった。

急ブレーキをかけて止まる電車。後日談になるが、周囲の誰もが「だめだ」と諦めた。恐る恐る近づく奥の方から「そこそ動く気配がし、私はいは出てきたらしい。体が小さかったから電車と道路の間で命拾ひしたのだ。」

近くの医院に運ばれると、理不尽なことに元軍医だという医者から厳しく叱責された。私の父が海軍将校で戦死したことも知っていた。「ばか者、これでは立派な軍人になれないではないか」。残念ながら左足の親指を失っていた。

あのころ……

母・智さんは遺族に払われる公務扶助料を「給料」と言つてもらっていた。親族によると、近年遺品の中に英語の小さな紙片を見つけた。鹿児島市内の占領軍の家族住宅で働いたための身分証明書とみられる。日本語の証明書には「メイドとして勤務」とある。

戦没者遺児の戦後80年 ②

尾辻秀久さん語る

中学校の成績はよかった。1950年に鹿児島県玉龍高校ができてしばらく、当時の校長は各中学校を回り優秀な生徒を集めていた。後で聞いた話では、「尾辻君が来てくれるなら」と、同じ中学から合格ラインに若干届かない数人が入学できたらしい。もし本当なら、焼酎の抱き合わせ販売みたいな感じだろうが。56年、期待されて入った玉龍高校では勉強せず陸上競技に夢中だった。先生にもよく怒られ、殴られた。卒業時のテストはクラスでビリから2、3番目だったと記憶する。ここで同志と呼べる仲間を得たことは大きかった。僕は同じ学年でも何組だったかにこだわる。というのも全8

玉龍高校

「同志的結束」の友得る



組のクラス分けは成績順だったからで、自分のいた4組が一番成績がよかった。というわけか子どもの頃

「尾辻君が来てくれるなら」と同じ中学から合格ラインに若干届かない数人が入学できたらしい。その中学とはどこ？

③玉龍高校時代の尾辻秀久さん
④1957年南日本リレーカーニバルを紹介する南日本新聞。写真は「高校男子スーパードリル」大会新でテープを切る尾辻選手とある

鐘化

からよく叱られた。誰かがぶん殴られて収まる場面です。割だった。悪がきというのか、わんぱく大将というのか。母はそういう状況を知っていて何も言わなかった。ただ妹・義のPTAに行く」と担任が口にするのは兄である私の話ばかり。「あの秀久の妹」という枕ことばが付いて回るのを心配した。鹿児島大学付属小・中学校と同じ道を来た妹は、鹿児島純心女子

高校へ進むことになった。さて自分の進学をどうするか。海軍将校の息子だからでもないが、真つ先に考えたのは防衛大学校だった。学費無料で、母にお金の心配をさせずに済むのが大きかった。面接では子どもの頃の事故で左足の親指がない点を指摘された。だめだと思った時、「よし、合格」と面接官の大きな声がした。それで救われた。手元の資料から父が海軍だと分かったのだろう。当時の教官には父の同期(海軍兵学校60期)が少なくなかった。「尾辻の息子か」。そんなやり取りを聞いた気もする。防衛大では興味がある学科しか勉強しなかった。数学が好きでフェルマーの定理を証明しようと考えていた。2年進級時に陸・海・空に分かれる。例年パイロット希

あのころ…

望者が多く、何度かある適性検査で絞られていく。検査結果はよかったため、それぞれから声をかけられた。父と同期の教官に「おやじは海軍だった」と念押しされると、それ(海)以外は選べない雰囲気になった。

玉龍高校時代の同級生で弁護士池田恒さんは「尾辻の成績はよかったはずだ」と振り返る。1956(昭和31)年10月の成績表コピーを手に「(300人超の)学年で尾辻14番、池田21番」。付属小中、玉龍高と一緒だった会社経営の村岡淳雄さんによると、いい高校にしようと学校側は必死で「東京の進学校から期限付きで来ていた先生もいた」と記憶する。

戦没者遺児の戦後80年

③

尾辻秀久さん語る

防衛大学校3年の時、母の智が亡くなった。41歳だった。県遺族会の仕事先で倒れたのだ。父が戦死し24歳で未亡人となつて以降、自分と妹を女手一つで育ててくれたから、これも「戦死」ではないか。慌ただしく葬儀を終え、しばらくして戻った学校に退学届を出した。高校生だった妹をとにかく卒業させなければいけなかった。

振り返ると、防衛大に進む際、母には相談せず合格後に伝えた。母は「構わんよ」とだけ答えた。当時は戦死した父(海軍将校)に近い道を歩くことが母への孝行だと考えていて、賛成してくれたと解釈していた。果たしてそうだったのか。本心を聞けないま

防衛大学校退学

"軍隊"への後ろめたさ



ま母は逝った。戦没者遺児として戦争は絶対反対だった。防衛大は幹部自衛官を養成する機関で卒業

したら自衛隊に進むことになる。自衛隊は率直に言つて軍隊と変わらない。戦争反対なのにそんな組織に入つていいのか。後ろめたさのような気があつたのも事実だ。

だから辞めるのにちゅうちよはなく、むしろホッとした記憶がある。妹と2人、どう生活していくか。双方の祖父母は既になく、手を差し伸べてくれる余裕のある親戚はいなかった。働いて金を稼ぐしかない。想像がつかないだろうが当時はひとり親というだけで就職が不採用となる時代。まし

防衛大学校3年時の尾辻秀久さん(前列左端)。海上7期9班の仲間と写真に収まる

てや自分は両親ともいない。「何でもするから」と面接で食ひ下がった会社で、担当者にかげられた言葉は一生忘れない。「うちは慈善事業をやっているわけじゃない」

この経験がなければ、政治の世界に足を踏み入れることはなかったかもしれない。こんなせりふを言わせない世の中にしなければと思つたのが政治家を目指す原点だ。虫の目になろうと誓つた。地べたをはいずり弱いものの味方になろうと思つた。

両親のいない私と妹が何とか生きてこられたのは、遺族会の人たちが親代わり、きょうだい代わりになつて面倒をみてくれたからだ。

小さい頃、母に連れられてよく遺族会の集まりに行つた。会合がある鹿児島市の護国神社が遊び場だった。長じ

て遺族会青年部の役職を引き受けるのも、遺族会の代表として政治の世界で仕事するようになるのも、自然な流れだったのかもしれない。(談)

あのころ:

1952年に設立された防衛大学校は戦争や軍隊を想起させるため批判や反対が絶えず、制服で街に出ると石を投げられることもあつた。作家大江健三郎は「若い世代の恥辱」と指摘した。吉田茂首相は57年の1期生卒業式でこう訓示した。「君たちが日陰者であるときの方が国民や日本は幸せなのだ。耐えてもらいたい」。尾辻氏は2009年1月30日の参院代表質問で吉田の孫・麻生太郎首相に「今ならどう訓示するか」と問うている。

戦没者遺児の戦後80年

④

尾辻秀久さん語る

1961(昭和36)年に防衛大学校をやめた後、食べていくためにアルバイトは何でもやった。地元の鹿児島新報では記者の手伝いをするボーイをした。県庁の記者クラブに原稿を取りに行ったり、仕事で外す記者の代わりに麻雀卓を囲んだりもした。

割がよかったのは高校受験を目指す中学生の家庭教師。何人かに教えるうちに、もっと人数を増やせないかと考えた。そこで甲突川沿いの民家を借りて学習塾を開いた。

鶴丸や甲南をはじめ進学校の合格者が増えるにつれ評判になった。今なら考えられないが、問題が分からないという生徒に「おまえはばかだ」「なんでこんな簡単なのがで

海外放浪

あらゆる経験 度胸付く



きないんだ」と返していた。ある時、生意気な生徒がいた。いつものように「私とおまえたちとは出来が違うんだ。東大だつて通る」と言い

たい放題していると、「じゃあ合格してみろ」と反撃に遭った。それで「ああ東大に入つてみせる」となった。

勢いとはいえやるしかない。しばらく勉強に集中して受けたところ合格した。なぜか？ 子どもたちに高校受験用の基礎を教え込むうちに、解き方や考え方の基本が身に付いていたのだろう。

もともと通う気はなかった。ただせっかく合格したのだからと周囲に促され入学することになった。64年、23歳だった。既に東大紛争の兆候があり、

南米チリを旅行中の尾辻秀久さん。車体に「JAPAN」鹿児島の文字が見える

1970年

ほとんど授業もなかったのだから休学手続きをした。

塾を続けていれば今頃は大手塾のオーナーだったか。残念ながら自分は一つのことをじつと続けられる性分ではない。妹も高校を卒業し東京の短大に入っていた。

自動車で世界を回ろうと考えた。それまでにためた100万円でワゴン型のプリンス・グロリアを購入したものの、保証金や準備で250万円は必要だ。あらゆるつてを頼りにカンパしてもらった。

鹿児島新報でのアルバイト時代に世話になった人が偉くなつていて相談すると、当時のスポンサー・岩崎産業(鹿児島市)の岩崎與八郎さんに伝わり、支援を得られるといったこともあった。

66年5月、香港を目指し横浜港を出発。1年で戻る予定

だった。貧乏旅行だ。資金が尽きたら現地で働いた。

インド、中東、欧州、米大陸と次の目的地へと続けるうちに5年近くが過ぎていた。

およそ70カ国、14万キロ。紛争地域、砂漠、共産圏、車上狙い被害、家庭教師、ホームステイ、ベルボーイ…。多くの経験を通し、大抵のことは驚かなくなった。(談)

あのころ…

妹の義さんによると、尾辻さんは池之上町の自宅を売って渡航費に充てた。「いつかおまえには家を建ててやると説得された。兄は本心にわがままなの」。69年南日本新聞に連載した旅の記録「ボッケモン世界駆けある記」は第1回大宅壮一ノンフィクション賞の候補になった。

戦没者遺児の戦後80年 ⑥ 尾辻秀久さん語る

「おまえは総理大臣を目指すつもりか?」。突然聞かれて戸惑った。

質問の主は田中派の長老で参院議長も務めた徳永正利さん。日本遺族会を支持母体にしてきた。戦没者遺児という私の出自に加え、父と同じ海軍だったこともあり、防衛大学校の頃からかわいがってもらった。鎌倉にある自宅へもよく遊びに行っていた。

県議2期目の途中、1986(昭和61)年の衆院選に挑戦する際、鹿児島で開いた励ます会では激励のあいさつもしてくれた。久しぶりに訪ねた鎌倉での出来事だった。

「国会議員はともかく、総理になろうとまでは」と答えに窮していると、「総理を目

参院議員転身

怒り原点 国の責任追及



指す気がないなら衆院議員も参院議員も一緒だ。自分の後継者として次の参院選に出ろ」と返ってきた。徳永先生は党内規にある比例代表70歳定年を過ぎていて勇退する予定だった。

こうした縁もあり、89年の

参院選に後継候補として立候補し、国会議員になった。県議時代は文教族として教育問題に力を入れてきたが、今度は厚生族。遺族会代表としての立場を考えれば当然だ。

「平和を守る」「戦没者家族の生活を守る」を命題に掲げた。後のことは国が責任を持って面倒を見るからと多くの夫や父を戦地に送り出したのに、遺族が食うや食わずの生活を強いられるのはおかしい。怒りを原点に、戦後処理として傷痍軍人、軍恩を含む

ドミニカ移民問題の経過報告をする超党派の国会議員懇談会会長の尾辻秀久さん(左)と事務局長の川内博史衆院議員

2006年11月、鹿児島市

恩給団体の待遇改善に取り組んだ。

ドミニカ問題も根っこは同じだった。50年代、「カリブの楽園」とうたい鹿児島を含む全国から中米ドミニカ共和国へ移住が推進された。ところが、もらえると聞いていた肥沃な土地は塩だらけの荒地で農業ができる状態ではなかった。帰国もできず現地ですのまま亡くなった人もいる。2000年、国に損害賠償を求める訴訟となった。

参院外交防衛委員会や予算委員会でも徹底して国の責任を追及した。野党議員に「われわれの出番がない」と感謝されたほど。答弁に立つ川口順子外相を何度もしどろもどろさせ、青木幹雄参院幹事長から「やりすぎだ」と叱られた。

予算委ではあまりに不誠実な外務省の答弁に、委員長

片山虎之助さんが切れた。質問者の私に「この答弁でいいのか」と、もつとやれと言わんばかりの進行。委員長とあうんの呼吸でやれたからこそ、国の「不手際」を認める小泉純一郎首相の発言を引き出した。のちの謝罪の言葉につながっている。

あのころ…

ドミニカ訴訟は06年原告側敗訴後、実質的な補償金支払いと首相の謝罪で政治決着した。超党派の国会議員懇談会会長として尾辻さんは何度も現地を訪問。事務局長だった川内博史衆院議員によると、経由地の米国は01年同時テロの影響で入国審査が厳格化。なぜか尾辻さんだけ身体検査で「下着1枚になれ」と言われ憤慨する場面があった。

戦没者遺児の戦後80年 7 尾辻秀久さん語る

2001(平成13)に3期目に入ると、入閣の話が出始めた。大臣に就いたら自由に動けなくなると、3回は断った。入閣候補は順送りであつて、04年秋の内閣改造を控えた、自民参院幹事長の片山虎之助さんから「引き受けてもらわないと後がつかえて困る」と説得された。

やりたいポストがあるかと聞かれたがそれもない。そのうち片山さんが「おまえのベイスは遺族会だから厚生労働大臣だ」と決めてしまった。当時、小泉純一郎首相の組閣は派閥の推薦を受けず一本釣りが特徴だった。ただ、自民党の中で参院は特別扱い。議員会長の青木幹雄さんを中心に回っていたから、首相も

「お任せ」の感じだった。04年9月、厚労相に就任した。その日の夜、職員が逮捕され対応に追われる事態に。大変な役目だと思った。

厚労省が所管する戦後処理として外せないのは遺骨収集だ。海外や沖縄、硫黄島での戦没者は240万人とされ、112万柱の遺骨が現地に残っている。



日本戦没者遺骨収集推進協会の会長として、種子島北端での海没遺骨調査で引き揚げられた機体を視察する尾辻秀久さん
＝2021年6月、西之表市

日本遺族会の一員としてサイパン、テニアン、フィリピンをはじめ何度も収集活動に出向いた。駆逐艦「夕霧」の艦長だった父はソロモン諸島沖で海没しているから拾いたくてもできない。おやじの骨を拾うつもりで拾った。

初めて参加した時、ぼう然とした。案内された海岸に無数の骨が転がっている。本当

に申し訳なく、遺骨に触れた時、つらかった。別の現場で「これはどの国の人の骨だろうか」と尋ねると、案内人から「野ざらしにしているのは日本だけだ」と返され、言葉が失ったのを忘れない。

あのころ…

戦後1952年に始めた遺骨収集は、収集を一部にとどめる「象徴遺骨」という形で57年に「概了」とした。日本遺族会などがボランティアで続け、国は67年再開した。硫黄島の遺骨収集に参加した北海道新聞の酒井聡平記者は著書「硫黄島上陸 友軍八地下ニ在リ」で、尾辻さんについて「戦没者遺骨を本土に帰すために、これほど世界各地で汗を流した政治家を僕はほかに知らない」と記す。

遺骨収集

「けじめを」幕引き言及

戦没者遺児の戦後80年 ⑧

尾辻秀久さん語る

参院議長として22年から3回、8月15日の全国戦没者追悼式で追悼の辞を述べた。文案は自分で練った。1週間ほどかけた年もある。父は32歳で戦死、残された私と妹を必死に育て41歳で力尽きた母も「戦死」と考え、戦没者の遺族としていつも心にある思いを述べた。

「父より50年、母より40年長く生きている。残された命は、戦争の悲しさを伝える語り部として生きていく。この平和が、取り返しのつかないほど大きな犠牲の上に築かれていることを忘れてはいけない」(22年追悼式)

「私たちは、生きるか死ぬかという中を肩を寄せ合って生き抜き、平和で豊かな国を作り上げた。今、私たちがし

理屈より情

好きな人、弱い人の側に



なければいけないことは、犠牲となった方々のことを忘れないこと、戦争を絶対に起こさないこと」(23年追悼式)

「戦没者の妻であるお母さんたちに『父の分まで100歳、いや120歳まで長生きをして』と言いつづけた私が83歳。これからも命の限りを尽

なければいけないことは、犠牲となった方々のことを忘れないこと、戦争を絶対に起こさないこと」(24年追悼式)

物心ついた時は戦後の厳しい時代で、貧乏人もお金持ちもいなかった。助け合わないと生きていけなかった。だから、人生の中で何か判断する際の基準は、正しいか正しくないかではない。友だちがいがあるかないかだ。自分の好きな人がやろうとしていることには協力するし、弱い方の味方をする。

いつの頃からか、自分より右寄りの人が増えてきた。戦争をしたら日本の問題は解決

「絶対に戦争だけは駄目。これだけは言い続けたい」と話す尾辻秀久さん(11月、鹿児島市の南日本新聞会館(田中公人撮影))

すると誤解しているのではない。人付き合いも、国の外交も、情のつながりを重んじる私のような人間には、威勢のいい人たちの身勝手な理屈はなかなか理解できない。

幼い記憶ながら、米軍の爆撃機が頭上を飛んでいくのを見たし、何度も庭先の防空壕に駆け込んだ。空襲で自宅も焼け出された。「戦争は駄目だぞ」。これだけは心の中に握りしめて生きているつもりだし、そう伝えることが自分の存在価値だと信じている。

あのころ:

尾辻さんは、同僚議員への哀悼演説を国会で3回した。「先生、外は雪です。随分やせておられたから寒くありませんか」と語りかけた民主党の山本孝史さんへの追悼(2008年)は記憶に残る。尾辻さんの厚生労働相時代、質疑で役所が用意した答弁を読むと激しく反発し、自分の思いを率直に答えると山本さんは相づちを打ってくれた話を紹介。「自分の言葉で自分の考えを誠実に説明する大切さを教わった」としのんだ。

「絶対には戦争だけは駄目。これだけは言い続けたい」と話す尾辻秀久さん(11月、鹿児島市の南日本新聞会館(田中公人撮影))

戦没者遺児の戦後80年

尾辻秀久さん語る

父・秀一は1911(明治44)年、加世田村(今の南さつま市)で生まれた。成績はよかったようで、県立第一鹿児島中学校(一中)に進学するため鹿児島市へ移った。

親元を離れ、初めての下宿生活。遊びたい盛りでもある。「親の目が届かないから勉強しない」と考えた祖母は、一中に近い武地区に一軒家を購入し一緒に住むことにした。祖父は地元に残った。

「孟母三遷」とはちよつと異なるが、息子の学ぶ環境を整えようと遊び相手も選んだ。「学友」の一人が原口虎雄さん(のち鹿児島大学教授、志学館大学教授の原口泉さん父)。後年、虎雄さんは私の顔を見ると、よく「おま

番外編①

「孟母三遷」と父

飛び級で海軍兵学校へ



えのおやじの勉強机がうちに残っている」と笑っていた。祖母の面倒見がよかったのだらう。父の成績は上向き、通常5年で卒業するところを1年飛び級し、4年で卒業す

ることになった。

進学先は広島・江田島にあった海軍兵学校だった。英国のダートマス、米国のアナポリスと並び世界三大兵学校と称されるエリート校。

その60期。当時の文集か何かを見る機会があった。父は「よく学びよく遊べ」と記していた。周囲は天皇を敬い日本を礼賛する言葉が多い中、

異彩を放っていた。32(昭和7)年に卒業。その後、海軍水雷学校へ進んだ。

43年11月、ソロモン諸島沖の海戦で亡くなった。駆逐艦

尾辻秀久さんの父・秀一さんと母・智さんの結婚記念写真。前列左端が父方の祖母タメさん

(本人提供)

「夕霧」の艦長だった。ブカ島への輸送作戦を成功させた後、米軍の奇襲に遭う。父は自分の船が敵側に突っ込んでいく間に、足の遅い仲間の船(天霧、卯月)を逃がそうとしたらしい。

魚雷を数本放ったが、その航跡から輸送隊の位置が米軍に知られてしまった。一番大きかった夕霧は集中攻撃を受け撃沈された。

自分は40年生まれだから、父が32歳で戦死した時は3歳。父と遊んだり触れ合ったりした記憶はない。鹿児島市の武の自宅であった父の葬儀に大勢の人が来ているのを何となく覚えていくくらいだ。

父の人物や経歴を調べようとすればできたが、あえて自ら近づくことはしなかった。物心つく頃から耳にたこでできるほど周りが教えてくれた

からだらう。だから分別がつく年齢になって、最期の様子を聞いた時も「おやじらしい」と思った。

原口虎雄さんだったか、鹿児島島の偉人の共通点に「いずれも母親が偉かった」と華びていた気がする。私から見ただけの祖母、鹿児島島の遺族会を支えた母も当てはまるのではないだろうか。(談)

あのころ:

尾辻さんの家族が1942年ごろと思われる新聞切り抜きのコピーを保管する。「海軍航空隊聯合卒業式」の見出しで、伏見宮殿下台臨の下、開かれたと読める。優等生に対する御下賜品の伝達もあり、拝受の光栄に浴した者として「海軍水雷学校尾辻秀一大尉」と記されている。

戦没者遺児の戦後80年

尾辻秀久さん語る

実は正月恒例の箱根駅伝に出たことがある。

中学、高校は陸上競技に熱中した。中距離が専門で、玉龍高校時代は800メートル走でインターハイ県予選で優勝した。

防衛大学校に入った時、何とか箱根駅伝に出たいと陸上部の監督に直訴した。1年生だったが、学業はそこそこ先に輩たちの尻をたたきながら駅伝の練習を重ねた。そのかいあって2年生の時、箱根出場が懸かる予選会で最下位ながら枠に滑り込んだ。われわれのすぐ後に慶応がいた。

1961(昭和36)年、迎えた本賽、実力を考えれば最下位は当然だった。どうせ出るなら爪痕を残したい。それならスタート直後に一番にな

番外編④

箱根駅伝出場

スタート直後 先頭疾走



ろうと考え、監督に頼み込んで往路1区で出走した。出発地点の東京・大手町の読売新聞社前から日比谷通りに出るまでの数百メートル、必死で走り1位になった。

今のようにスマートフォンで簡単に動画や写真を撮れる時代ではないから証拠はな

い。後年、記者との懇談会でこの話をした。読売新聞の記者が当時のネガフィルムを根気強く調べ、最初の角を曲がる辺りをトップで走っている姿を見つけてくれた。

私は箱根駅伝でトップを走ったことがあるのだ。

なかなか信じてもらえないが、映画にも出ている。仏の有名俳優カトリーヌ・ドヌーヴとの「共演」だ。

東大を休学して海外を放浪していた67年ごろ。デンマーク滞在中だった。記憶が間違っていないければ、東京・羽田

家庭の事情で退学する尾辻秀久さん(前列中央)に防衛大学校陸上部の仲間が贈った寄せ書きに張られた写真(本人提供)

を出発してパリに到着予定の飛行機に、經由地のデンマーク・コペンハーゲンから主人公が搭乗する場面のエキストラ。羽田発の機内に日本人が一人もいないのはおかしいとなり、急ぎよ日本人を探していた。

当時コペンハーゲンに在住する日本人は少なかった。いいアルバイトになると応募したら即採用。撮影はビジネスマンに見えるスーツ姿でと言われた。貧乏旅行者が持っているはずもなく普段着で臨んだ。機内で食事を取るシーン。せつかくだからとバクバク食べたら、何度もスタツフにたしなめられた。

こちらも仲良くしていた記者がドヌーヴ作品を探してくれた。早速送り見て、何本目かで多分これではという場面にたどり着いた。顔が映って

いるわけでもなく、周囲が納得しているのかどうか。

「サインをもらっていたらお宝になったのに」と家族に言われたが、ドヌーヴを知らなかったのだから仕方ない。

(談)

あのころ…

20歳を超す箱根駅伝往路1区は、中距離の選手には長すぎた。幼少期の事故で左足の親指がない尾辻さんには、スパイクレスシューズで走るのには引っかけがなくて大変だったはずだ。1時間17分22秒。たすきを渡す時は最下位だった。妹の義さんによると、秀久さんが駅伝に出ると聞き、母の智さんは一人で東京まで応援に行った。借金して買ったカメラを携えていた。急死したのはその年の夏だった。

戦後80年
かごしま

留学生 大隅の戦跡巡る

鹿児島大学大学院の中国人留学生が3、4の両日、鹿屋市と大崎町の戦争遺跡を巡り、関係者と意見交換した。戦後80年に合わせ、国際的視点から地域の歴史継承と持続可能な地域づくりを考えようと、鹿大と慶応大、大崎ものづくりネットワーク振興会による産学官連携の一環で企画した。

参加したのは、鹿大大学院博士後期課程2年、張俊傑さん(25)と劉夢真さん(26)、同1年、李孝民さん(27)の3人。鹿大グローバルセンターの中谷純江教授、同町政策研究員で慶応大大学院の田中力研究員が同行した。

3日は「神風特別攻撃隊の戦跡ナビゲーター」として活動する大崎町の会社役員、堀之内裕行さん

継承の大切さ再認識 鹿大大学院中国人3人



海軍航空隊串良基地跡の地下壕を見学する留学生ら
＝鹿屋市串良町有里

が、鹿屋市の鹿屋航空基地史料館や串良平和公園を案内。海軍航空隊串良基地跡の地下壕第一電信司令室(市指定文化財)では、無線を受信していた当時の様子などに一行が聞き入った。

劉さんは「戦争遺跡を保存し、経緯や背景を明記することが重要だと思う」。張さんは「戦争のもたらす苦しみを顧み、どうするべきか考えないといけない」。李さんは「特攻隊員が母に宛てた言葉が印象に残った。戦争の悲惨さ、平和の大切さは国を超えて一緒に考えるべきだ」と話した。

中谷教授は「日本に留学し、将来両国をつなぐ人材が現地を見て知る機会は貴重で互いにとつて大事だと改めて感じた」と語った。

4日は放置竹林の解消と資源化に取り組む同町の社会福祉法人愛生会と宮園地区で意見交換した。

(福留梓)